

実践3 社会

単元名：地理的分野「アフリカ州」（第1学年）

教科（地理的分野）の目標（3）「学びに向かう力，人間性等」

日本や世界の地域に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

単元の目標(3)「学びに向かう力，人間性等」

アフリカ州について，よりよい社会の実現を視野に，そこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養う。

単元の評価規準「主体的に学習に取り組む態度」

アフリカ州について，よりよい社会の実現を視野に，そこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。

○ 指導と評価の計画（全6時間）

※【記録に残す評価】◎＝ペーパーテスト、○＝単元振り返りシートの記述、☆パフォーマンス課題、【指導に生かす評価】●

時	学習課題等	ねらい ※第4時の学習内容の一部を第1時に取り入れた単元デザイン（次頁参照）	評価の観点		
			知	思	態
導入	1 アフリカ州と私	アフリカ州の課題と自分の生活とのつながりを発見する学習を通して、主体的にパフォーマンス課題を設定する。（※「かふやみ20の力」一覧表から本単元学習を通して身に付けたい力を選び「未来シート」に記入する。）		●	●
展開A	2 自然環境と気候	自然環境の特色を地図や主題図から読み取り、気候の特色を雨温図と植生から理解する。	◎	●	
	3 歴史と文化	植民地支配されていた歴史や宗主国との結びつきについて図表などから考察し、政治的・経済的な団結を目指していることを理解する。	◎	●	◎
展開B	4 産業と課題	輸出用作物の栽培や鉱山資源の開発が盛んであることを資料から読み取り、特定の産業物の輸出に頼った経済の問題点を考察する。	◎	○	◎
	5 課題と必要な支援	課題（食料問題・医療問題等）とその対策について多面的・多角的に理解し、アフリカ州の発展のために必要な支援について追究、考察する。	◎	○	
まとめ	6 パフォーマンス	アフリカ州について学習してきたことを踏まえてパフォーマンス課題に取り組むことを通して、よりよい社会の実現を視野にアフリカ州に見られる課題を主体的に追究、解決しようとする。（※「未来シート」を記入する。）			☆

◎ キャリア教育の視点を踏まえた授業改善

本単元では「学びに向かう力」育成に向け、(ア)パフォーマンス課題、(イ)社会力アップシート、(ウ)アクティビティ、(エ)「未来シート」を取り入れた単元デザインを行う。この4つを取り入れることで、キャリア教育の視点を踏まえた授業改善となることを目指した。特に、(ア)では単元課題「アフリカ州に見られる課題は何か」を「25歳になった自分が海外協力隊としてアフリカ州の課題解決に行くために、社長を説得するプレゼンをしよう！」とパフォーマンス課題として再設定した。下表に(ア)～(エ)とキャリア教育の視点（かふやみ）の関連性やその授業改善によってねらいとしたこと（期待される効果）を示す。

キャリア教育の視点を踏まえた授業改善			ねらいとしたこと（期待される効果）
手立て		関連する「かふやみ」や〈20の力〉の例	
（ア）パフォーマンス課題	25歳の海外協力隊を目指す自分	〔みとおす力〕 み①：将来を想像する力 み⑤：キャリアを形成していく力	「海外協力隊を目指す25歳」と設定することで、 <u>自分の将来を想像しやすくなる</u> ことを目指した。
	アフリカ州の課題解決に行く	〔かかわる力〕 か⑤：社会に参画し形成する力	「アフリカ州の課題解決に行く」と設定することで、 <u>社会参画意識がより一層、涵養される</u> ことを目指した。
	社長を説得するプレゼン	〔やりぬく力〕 や①：問題を発見できる力	「社長を説得するためのプレゼン」と設定することで、 <u>学習を通して見出したアフリカ州の課題を提示</u> することを目指した。
（イ）社会力アップシート （次頁に掲載）		〔みとおす力〕 み④：目標を確認し次につなげる力 〔ふり返る力〕 ふ④：自分を見つめる力	単元課題への考えを予想して <u>見通しを持つ</u> とともに、毎時の振り返りを「R80」で行うことで <u>思考の変容を可視化して実感</u> することを目指した。
（ウ）アクティビティ		〔かかわる力〕 か②：進んで考えや気持ちを伝える力 か④：協力する力	適宜フォトランゲージやカードワーク等のアクティビティを取り入れることで、 <u>楽しみながら協働して考えを深め広げる</u> ことを目指した。
（エ）「未来シート」 （全教科共通）		〔みとおす力〕 み②：自分の目標を設定する力 〔ふり返る力〕 ふ④：自分の良いところを見つめる力	学習への見通しを持って <u>身に付けたい力を選ぶ</u> とともに、学習後に自己評価をすることで <u>振り返る材料となる</u> ことを目指した。

○ 「主体的に学習に取り組む態度」【態】の評価の進め方

【態】は一朝一夕に育つものではなく、思考力・判断力・表現力とも連動しながら単元全体を通して育み、その高まりを見取っていくことが肝要である。そこで、下図の「社会力アップシート」と命名した1枚の単元振り返りシートを作成し用いた。第1～5時にかけて提示された8個のキーワードを基に「R80」による振り返りを行うシートである。第6時では別紙の構想シート(次頁掲載)も活用しながらパフォーマンス課題に取り組み、本シートの最下段に清書して発表する。授業者は本シートの「R80」を【思】、パフォーマンス課題を【態】の主たる評価材料とすることができる。

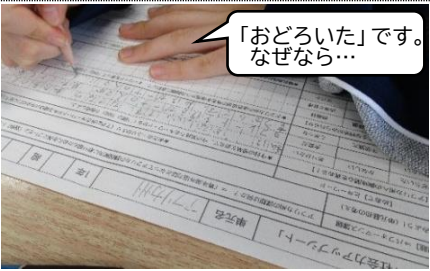
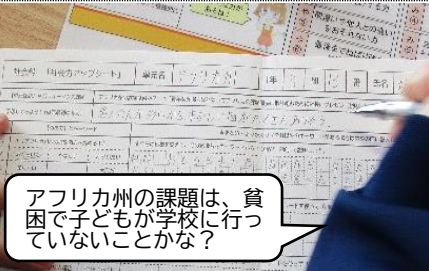
社会科	「社会力アップシート」	単元名	1年	組	番	氏名
【単元課題】⇒パフォーマンス課題		アフリカ州の課題は何か? ⇒「青年海外協力隊となってアフリカの課題解決に取り組むために社長にプレゼン(説明)しよう!」				
予想してみよう!(単元最初の考え)						
日	【めあて】とキーワード	★まとめ・ふりかえり(それ以外のキーワードがある場合は中央の口に入力しよう!)				
1	【アフリカ州への興味関心を高める】	★今日の授業を終えて、今の気持ちをキーワードから1つ選び「R80」で説明しよう。				
月	おどろいた かなしい ありがたい					
	知りたい 大変だ					
日	伝えたい 不思議だ こまった					
2	【自然環境にはどのような特色がみられるか】	★アフリカ州の自然環境の特色を赤道からの距離に着目して、キーワードを使って「R80」で説明しよう。				
月	ナイル川 サハラ砂漠 熱帯林					
	砂漠化 雨季と乾季					
日	エチオピア高原 サヘル サバナ					
3	【どのような歴史・文化がみられるか】	★植民地時代の影響はどのようなところに見られるか、キーワードを使って「R80」で説明しよう。				
月	奴隷 アフリカ連合 アパルトヘイト					
	植民地 多様な民族・言語					
日	紛争 ヨーロッパ 信仰					
4	【産業の特色と課題はどのようなことか】	★アフリカ州の経済について、最も印象的だったキーワードを2つ選び「R80」で説明しよう。				
月	輸出作物 鉱山資源 レアメタル					
	モノカルチャー経済 フェアトレード					
日	外国企業 安い賃金 子ども兵士					
5	【アフリカが抱える課題と必要な支援は何ぞ】	★アフリカ州での課題とその取り組みについて、最も印象的だったキーワードを2つ選び「R80」で説明しよう。				
月	人口増加 食料不足 栄養不足					
	砂漠化 エイズ/マラリア					
日	都市化 NGO 青年海外協力隊					
6. 【単元課題(パフォーマンス課題)】「青年海外協力隊となってアフリカの課題解決に取り組むために社長にプレゼンしよう!」に対する単元最後の考え						
月	パフォーマンス課題へのルーブリック例	A評価	よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的かつ具体的に追究、解決しようとしている。			
B評価		よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。				
C評価		(B評価以下の場合)				

※「R80」について

(アール・エイティ)
ふり返し(Reflection)を
二文 80 文字で書く手法。
二文を「なぜなら」等の接続
詞でつなぎ、後文は前文の
根拠となる記述を目指す。

○ 授業の様子(第1時・第4時・第6時の主な活動を紹介)

【第1時】アフリカ州の抱える課題と自分のつながりを見だし、アフリカ州学習への見通しを持とう!

1. フォトランゲージ  複数の写真(スライド)から植生や衣服・建物に着目しアフリカ州であることを読み取り学習への関心を高める。	2. 映像視聴  ガーナのカカオ栽培家族を手伝いながら交流する日本の若者の映像を視聴してアフリカ州の現状を理解する。	3. グループワーク・全体共有  チョコを見たことも食べたこともないガーナの家族に自分ならチョコをあげるか否か根拠を基に判断し共有する。
4. 社会力アップシートの記入  キーワードから本時の学習に対する気持ちを1個選び、その理由を「R80」で記入してグループ等で共有する。	5. パフォーマンス課題への予想  単元課題への見通しを持つと同時に、現時点で考えられるアフリカ州の課題を社会力アップシートに記入する。	6. 「未来シート」の記入  「かふやみ20のカー一覧表」を見ながら本単元学習で身に付けたい、伸ばしたい力を2項目以上選び記入する。

【第4時】 アフリカ州の産業には、どのような特色や課題があるか考察しよう！

1. フォトランゲージ なぜ「子ども兵士」が存在する？ ①何歳に見える？ ②どこの国かな？ ④どんな気持ちかな？ ③何を持っている？ ★私たちと関係しているかな？ 写真提供掲載許可：認定NPO法人テラルネッサンス スライドで提示された写真を全員でフォトランゲージし、気づいたことや疑問を出し合い「問い」を持つ。	2. スマホに関するクイズ Q2:最初にケータイが登場した国は？ ①日本 ②スウェーデン ③イギリス ④アメリカ Q4:世界のスマホ契約数は？ ①22億 ②35億 ③70億 ④80億 Q5:スマホ一台に何個の部品？ ①50 ②100 ③1000 ④2000 スマホに関するクイズ(全5問)について既習事項を活用し答えを導き出す。(例:Q4は世界の人口と比較する)	3. カードワーク(スマホができるまで) 「組立てる」が先だと思う カード提供掲載許可:NPO 法人開発教育協会 スマホの生産工程をグループで共同して考えカード(10枚)を並べることを通してサプライチェーンを理解する。
4. 新聞記事で理解 子どもが兵士になっているのは、スマホの原料のせいなんだ… 世界に20万人以上の紛争に関与している 新聞記事を読み、子ども兵士はスマホの原料であるレアメタル争奪に起因していることを理解する。	5. 地図・グラフの読み取り アフリカの主な鉱産資源 めあて: アフリカ州の産業にはどのような特色や課題があるのだろうか。 1. 教科書P89の地図を見ながら次の問いに答えなさい。 ①アフリカ州の主な鉱産資源をあげよう。 ②レアメタルと呼ばれる鉱産資源名をあげよう。 2. アフリカ州の次の国における主な農産物名をあげよう。 ①ガーナ、コートジボワール、ナイジェリア、カメルーン ②ケニア ③エチオピア アフリカの鉱産資源を地図から読み取り、ワークシートの表にまとめよう。 鉱産資源の産出場所や主な輸出品を読み取ることを通して、モノカルチャー経済を理解し、その課題を考察する。	6. 「社会力アップシート」の記入 「モノカルチャー経済」です。なぜなら、そのせいで… アフリカの産業について、最も印象的だったキーワードを1個選び、その理由を「R80」で記入して共有する。

【第6時】 アフリカ州について学習してきたことを踏まえ、パフォーマンス課題に取り組もう！

1. 動画で海外協力隊を知ろう！ 実際の協力隊を見てみよう！ 海外協力隊を紹介する動画を視聴して、パフォーマンス課題への関心を高める。(JICA Web ページより)	2. 構想シートを活用しよう！ アフリカ州の課題解決のために、10年後の自分は何をしているだろう… 社会力アップシートを見直しながらか構想シートに取り組むことで、パフォーマンス課題作成の材料とする。	★構想シートの例 【アフリカ州】パフォーマンス課題「構想シート」 I 年 組 番 氏名 【パフォーマンス課題】 25歳になったあなたは、青年海外協力隊となって、アフリカ州の課題解決に行こうと決意した。どのような課題を解決したいか考えて、社長を説得するプレゼン(説明)をしよう！ 【ステップ1】下記のA～Gのアフリカの課題のうち、あなたが重要だと思う課題は何ですか？右の○の中にアルファベットを記入してランキングしよう。 <table border="1"> <tr><td>A</td><td>モノカルチャー経済</td></tr> <tr><td>B</td><td>食料問題</td></tr> <tr><td>C</td><td>平和問題(紛争・内戦、難民)</td></tr> <tr><td>D</td><td>子どもの人権(児童労働、子ども兵士)</td></tr> <tr><td>E</td><td>健康・医療問題</td></tr> <tr><td>F</td><td>環境問題(砂漠化・都市化)</td></tr> <tr><td>G</td><td>その他()</td></tr> </table> ○ 最も先に取り組みたい！ ○ 次に取り組みたい！ 【ステップ2】25歳になったあなたの職業は何かな？次から選び、番号に○をつけよう。(10年後の自分の姿をイメージし、その時、どのような支援ができそうか、またはしたいのかを考えよう) <table border="1"> <tr><td>① 教育関係(先生・保育士)</td><td>② 農業・漁業・職人</td><td>③ 医療関係(医者・看護師)</td></tr> <tr><td>④ 美容・ファッション関係</td><td>⑤ 経営者</td><td>⑥ IT(プログラマー・ゲーム開発)</td></tr> <tr><td>⑦ 飲食業</td><td>⑧ 観光業</td><td>⑨ その他()</td></tr> </table> 社会力アップシートを振り返ろう 【ステップ3】上記1・2を元にシナリオを考えよう。(※課題を思い出しながらゆずり考えて書きましょう) 私は海外協力隊になって、 ① について取り組みたいです。 その理由は、2つあります。アフリカは、 ★② ★③ だからです。 私は、中学生の時、アフリカ州の学習で、このことを学んだ時から、アフリカのために ④ してきました。 大人になった今、アフリカのために、私は、 ★⑤ したいです。 ※この構想シートを踏まえ、社会力アップシートに書きましょう。 【ステップ1】で、これまでの学習を通して見出したアフリカ州の課題について重要と思う順にランキングする。 【ステップ2】で、25歳の自分の職業を選択する。これらを踏まえ、【ステップ3】で、パフォーマンス課題について具体的に構想して記入する。	A	モノカルチャー経済	B	食料問題	C	平和問題(紛争・内戦、難民)	D	子どもの人権(児童労働、子ども兵士)	E	健康・医療問題	F	環境問題(砂漠化・都市化)	G	その他()	① 教育関係(先生・保育士)	② 農業・漁業・職人	③ 医療関係(医者・看護師)	④ 美容・ファッション関係	⑤ 経営者	⑥ IT(プログラマー・ゲーム開発)	⑦ 飲食業	⑧ 観光業	⑨ その他()
A	モノカルチャー経済																								
B	食料問題																								
C	平和問題(紛争・内戦、難民)																								
D	子どもの人権(児童労働、子ども兵士)																								
E	健康・医療問題																								
F	環境問題(砂漠化・都市化)																								
G	その他()																								
① 教育関係(先生・保育士)	② 農業・漁業・職人	③ 医療関係(医者・看護師)																							
④ 美容・ファッション関係	⑤ 経営者	⑥ IT(プログラマー・ゲーム開発)																							
⑦ 飲食業	⑧ 観光業	⑨ その他()																							
3. パフォーマンスを紹介しよう！ 海外協力隊となって、「平和問題」について取り組みたいです。なぜなら… 構想シートを基に作成したパフォーマンス課題について、グループで回し読みや発表した後、学級全体でも数名の生徒が発表して共有する。	4. 「未来シート」記入共有しよう！ 身に付けた力が、身に付いたと思う理由は… 第1時で選択した「かふやみ20の力」を顔マークで自己評価し、さらに身に付いた力を「かふやみ一覧表」から選び記入して振り返る。																								

パフォーマンス課題に取り組むにあたり「構想シート」を用いた(前頁参照)。このシートにより、段階的に構想しやすくなるだけではなく、粘り強く取り組むことも期待できる。前々頁の「社会力アップシート」の第6時の欄に例示したループリックを基に評価を行った。その中から評価AとBとなった2名の生徒の記述を紹介する。この2名は25歳の自分の職業を想像し、アフリカ州の課題について学習内容を踏まえて捉え、その解決のために自分にできることを記述しており、よりよい社会の実現を視野に構想していることが読み取れる。特に、生徒aは生徒bに比べてイメージしている職業と課題解決案がリンクしている点やその解決案が主体的かつ具体的に述べている点をA評価と判断した。

評価	生徒がパフォーマンスした記述
A	[生徒 a] 私は海外協力隊になって「モノカルチャー経済」について取り組みたいです。モノカルチャー経済だと収入が安定せず食料も買えないし、モノカルチャー経済の鉱物があることで子ども兵士も引き起こしているからです。私は中学生の時、アフリカ州の学習でこのことを学んだ時からアフリカの現状をSNSで拡散して改善しないといけないと訴える活動をしてきました。美容・ファッション関係の仕事について今、農産物や鉱物以外にも収入を得ることができる産業もあることを教えて少しでも課題を減らしに行きたいです。
B	[生徒 b] 私は海外協力隊になって「食料問題」について取り組みたいです。急激な都市化で人口が増加し、スラムや農村が食料問題で餓死する人が出ている、自分がこんなことになっていたら助けて欲しいと思うからです。私は中学生の時、アフリカ州の学習で、このことを学んだ時からアフリカの課題についてもっと調べたりしてきました。飲食業者となった今、食料問題を中心にアフリカの課題を解決に行きたいです。

◎ 実践の効果

キャリア教育の視点を踏まえた本実践の授業改善による効果について、生徒への事後アンケート(下表)や「未来シート」の記入と内容、及び協力員(授業者)の感想等を基に考察する。〔n=112〕

Q1:「考える力や書く力」は以前より高まったか？ ⇒肯定的回答89%	
理由	[生徒c]社会力アップシートにキーワードがあり 80 字にまとめることで自分の伝えたいことを書きやすくなった。 [生徒d]一枚の振り返りシートだと前時も振り返りしやすく、めめてとつなげて考えることができたから。 [生徒e]グループ活動することで考えることを意識して意見を出し合えたり、なぜだろうと調べるようになった。
Q2:自分が何かをすることで少しでもよりよい社会になるという気持ちは以前より高まったか？ ⇒肯定的回答93%	
理由	[生徒f]なりたい仕事と関連させて、将来こうする！と考えながらパフォーマンス課題に取り組めたから。 [生徒g]協力隊の自分を想像しながらアフリカのことを考えることで自分でもできることがあると気づけたから。 [生徒h]アフリカの社会をより良くするための考えを立案することができたから。
Q3:「未来シート」を活用したことで、身に付けたい力を以前より意識して取り組めたか？ ⇒肯定的回答 88%	
理由	[生徒i]身に付けたい力をシートに書くことで目標がわかり、こうしようと確認しながら取り組めたから。 [生徒j]どの力を身に付けたいかで授業への気持ちが変わったし、自分がふり返ったことがわかりやすくて見れた。 [生徒k]目標があることで次のことも考えながら取り組めた。それ以上の身に付けたい力も身に付いたから。

「未来シート」における生徒の自己評価(複数選択可とした)						
n=112	学習前の 選択延数	学習後の自己評価				学習後の 選択延数
		☹	☺	☹☺	☹☹	
かかわる力	9 6	41	45	9	1	4 8
ふり返る力	3 4	14	16	3	1	1 7
やりぬく力	1 0 2	39	52	9	2	6 7
みとおす力	4 3	22	15	4	2	4 6

[illegible]

上表Q1から社会力アップシートやアクティビティによって、思考力・判断力・表現力の高まりを感じていることが読み取れる。特に、さらに調べてみたという行動変容から主体的に学習に取り組んでいる様子が感じられる。Q2では、自分の将来を想像しながら社会参画意識が涵養された点が読み取れることから「かふやみ」を踏まえたパフォーマンス課題の設定による効果と考えられる。Q3からは、学習への見通しを持って身に付けたい力を選んだことや、学習後に自己評価をすることで振り返る材料となっていることから「未来シート」の有効性が感じられる。左表からもその効果が読み取れる。特に、右上に例示した生徒mは学習前に[か⑤][や①]を選択し、学習後には😊と😄マークの自己評価を行い、さらに身に付いた力として[み①][ふ②]を選択している。そのように振り返った理由を読むと、社会貢献を視野に自分の役割を見出そうとしたことだけではなく、本単元における目標達成のために試行錯誤しながら学習に取り組んだ様子もうかがえる。

協力員も本実践について様々な効果を感じている。まず、「社会力アップシート」について、焦点を絞った記述が増えていることや、自主的に他者と比較したり、教師に見せに来ていたとその効果を指摘している。また、アクティビティによって積極的に授業に参加する生徒が多くなってきたことを痛感しており、社会科教科会でも主体的・対話的な手法だと大変好評であった。さらに、パフォーマンス課題を位置付けた授業に対しても単元学習始めにその課題を提示することで見通しを持つようになり、日々の授業の中でも課題を意識しながら取り組む生徒が多くなったと述べていた。そして、次単元でも取り入れて実践を続けている。以上より、キャリア教育の視点を踏まえた授業改善による本実践は、学びに向かう力の育成に有効であったと捉える。